



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 古河機械金属株式会社

コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮川 尚久

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 酒井 宏之

TEL 03-3212-7021

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	107,093	△12.5	4,073	△31.6	5,086	7.5	3,261	△10.0
28年3月期第3四半期	122,327	△4.1	5,952	△7.3	4,730	△19.6	3,625	17.6

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 6,869百万円 (167.4%) 28年3月期第3四半期 2,568百万円 (△45.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	8.07	—
28年3月期第3四半期	8.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	207,761	73,099	34.3
28年3月期	195,650	68,262	34.0

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 71,259百万円 28年3月期 66,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,000	△7.9	6,000	△24.9	5,700	△8.5	3,500	△30.8	8.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	404,455,680 株	28年3月期	404,455,680 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	406,154 株	28年3月期	398,486 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	404,053,881 株	28年3月期3Q	404,076,227 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
平成29年3月期 第3四半期決算短信 補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～同年12月31日）の我が国経済は、景気に弱さがみられながらも緩やかな回復基調が続きました。企業収益は高い水準にあります。改善には足踏みがみられ、また、海外経済の不確実性や、米国新政権の政策の動向などに注意を要する状況でした。

このような経済状況の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,070億93百万円（対前年同期比152億33百万円減）、営業利益は、40億73百万円（対前年同期比18億78百万円減）となりました。売上高は、主として、産業機械、ロックドリル、ユニックの機械3部門と金属部門で減収となり、営業利益は、機械3部門の減収により減益となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

産業機械部門の売上高は、91億6百万円（対前年同期比6億9百万円減）、営業損失は、2億94百万円（前年同期は3億48百万円の利益）となりました。東京外環自動車道（外環道）工事向けベルトコンベヤについては出来高に対応した売上を計上しましたが、陸前高田市向け高台移転工事での土砂の搬送が平成27年9月中旬に完了し、また、橋梁の売上も当期売上に係る受注が振るわず減収となりました。

ロックドリル部門の売上高は、184億92百万円（対前年同期比47億67百万円減）、営業利益は、5億14百万円（対前年同期比11億16百万円減）となりました。国内向けは、民間建設投資は首都圏を中心に堅調に推移しましたが、公共工事の減少を補うまでには至らず、建設需要は全体的に弱く、主力製品の油圧ブレーカの出荷は低調でした。海外向けも、原油価格の低迷などを背景に、資源国を中心として建設需要は大幅に減退し、油圧ブレーカ、油圧クローラドリルの出荷は、全般的に振るいませんでした。

ユニック部門の売上高は、185億30百万円（対前年同期比18億28百万円減）、営業利益は、17億55百万円（対前年同期比3億42百万円減）となりました。トラック搭載型クレーンの搭載対象となる平ボディ車の登録台数が伸び悩み、大手レンタルの需要減もあって、ユニッククレーンの出荷は減少しました。

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械3部門合計の売上高は、461億28百万円（対前年同期比72億6百万円減）、営業利益は、19億76百万円（対前年同期比21億2百万円減）となりました。

金属部門の売上高は、497億19百万円（対前年同期比77億69百万円減）、営業利益は、12億37百万円（対前年同期比79百万円増）となりました。電気銅海外相場の下落と円高により、大幅な減収となりました。

電子部門の売上高は、43億11百万円（対前年同期比2億16百万円増）、営業利益は、0百万円（前年同期は2億78百万円の損失）となりました。主力の高純度金属ヒ素は、原発事故風評被害の影響で、未だ苦戦が続いていますが、結晶製品、光学部品およびコイル製品で増収となりました。

化成品部門の売上高は、38億72百万円（対前年同期比6億66百万円減）、営業利益は、20百万円（対前年同期比1億28百万円減）となりました。亜酸化銅は、主要用途である船底塗料の需要が大きく減少し、減収となりました。

不動産部門の売上高は、23億5百万円（対前年同期比21百万円増）、営業利益は、9億56百万円（対前年同期比13百万円減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の経常利益は、ヌサ・テンガラ・マイニング株式会社からの受取配当金17億56百万円を営業外収益に計上し、50億86百万円（対前年同期比3億55百万円増）となりました。特別損失に減損損失1億1百万円ほかを計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、32億61百万円（対前年同期比3億63百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、2,077億61百万円で、前連結会計年度末に比べ、121億11百万円増加しました。これは主として、原材料及び貯蔵品の増加と上場株式の株価上昇による投資有価証券の増加によるものです。有利子負債（借入金）は、782億75百万円で、前連結会計年度末に比べ、20億34百万円増加しました。純資産は、730億99百万円で、前連結会計年度末に比べ、48億36百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回（平成28年11月7日）発表の業績予想における前提を、下期で銅価4,800米ドル/トン、為替100円/米ドルとしていましたが、直近の動向を考慮し、第4四半期では、銅価を5,800米ドル/トン、為替を110円/米ドルへ変更しました。直近の状況から判断して、産業機械部門、ユニック部門では減収となる見込みですが、金属部門では、銅価の上昇と円安により増収となり、ロックドリル部門でも増収が見込まれるため、連結全体の売上高を上方修正しています。営業利益については、円安などにより金属部門では増益を見込んでいる一方、産業機械部門とユニック部門では減収による減益が見込まれるため、セグメント別内訳を見直しましたが、連結全体の営業利益は前回発表どおりとしています。なお、内外の不透明な情勢から決算期末日における為替相場が見通せないため、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、修正していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,164	15,389
受取手形及び売掛金	24,701	23,637
商品及び製品	13,910	14,618
仕掛品	7,985	8,063
原材料及び貯蔵品	11,987	15,073
その他	5,796	6,483
貸倒引当金	△229	△192
流動資産合計	76,314	83,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,991	20,125
土地	55,129	54,963
その他（純額）	9,193	10,039
有形固定資産合計	85,314	85,127
無形固定資産	158	185
投資その他の資産		
投資有価証券	27,634	33,267
その他	6,813	6,708
貸倒引当金	△584	△599
投資その他の資産合計	33,862	39,375
固定資産合計	119,335	124,687
資産合計	195,650	207,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,012	13,725
電子記録債務	7,877	9,127
短期借入金	27,836	24,581
未払法人税等	360	534
引当金	124	1,295
その他	9,538	11,923
流動負債合計	59,749	61,187
固定負債		
長期借入金	48,404	53,694
引当金	1,669	397
退職給付に係る負債	8,325	8,606
資産除去債務	213	217
その他	9,024	10,558
固定負債合計	67,637	73,474
負債合計	127,387	134,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	33,467	34,752
自己株式	△63	△64
株主資本合計	61,612	62,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,513	10,079
繰延ヘッジ損益	157	△673
土地再評価差額金	3,583	3,540
為替換算調整勘定	542	△1,050
退職給付に係る調整累計額	△3,950	△3,531
その他の包括利益累計額合計	4,847	8,364
非支配株主持分	1,802	1,839
純資産合計	68,262	73,099
負債純資産合計	195,650	207,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年12月31日)
売上高	122,327	107,093
売上原価	103,265	90,592
売上総利益	19,061	16,501
販売費及び一般管理費	13,109	12,427
営業利益	5,952	4,073
営業外収益		
受取配当金	452	2,241
その他	395	394
営業外収益合計	848	2,636
営業外費用		
支払利息	619	514
休鉱山管理費	438	399
為替差損	450	—
持分法による投資損失	183	354
その他	378	354
営業外費用合計	2,070	1,623
経常利益	4,730	5,086
特別利益		
固定資産売却益	298	10
受取補償金	391	—
その他	0	0
特別利益合計	689	11
特別損失		
固定資産除売却損	59	60
減損損失	206	101
その他	11	3
特別損失合計	277	165
税金等調整前四半期純利益	5,142	4,932
法人税、住民税及び事業税	894	1,082
法人税等調整額	550	477
法人税等合計	1,444	1,559
四半期純利益	3,697	3,372
非支配株主に帰属する四半期純利益	72	111
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,625	3,261

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	3,697	3,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,236	5,566
繰延ヘッジ損益	203	△819
土地再評価差額金	4	—
為替換算調整勘定	△238	△1,384
退職給付に係る調整額	549	418
持分法適用会社に対する持分相当額	△411	△284
その他の包括利益合計	△1,128	3,496
四半期包括利益	2,568	6,869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,522	6,821
非支配株主に係る四半期包括利益	46	47

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	9,716	23,259	20,359	57,489	4,094	4,538
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,064	5	70	276	53	41
計	11,780	23,265	20,429	57,766	4,148	4,580
セグメント利益又は損失 (△)	348	1,631	2,097	1,157	△278	148

(単位: 百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	2,283	121,741	585	122,327	—	122,327
セグメント間の 内部売上高又は振替高	100	2,613	1,208	3,822	△3,822	—
計	2,384	124,355	1,794	126,149	△3,822	122,327
セグメント利益又は損失 (△)	970	6,077	△52	6,024	△72	5,952

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△72百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△68百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	9,106	18,492	18,530	49,719	4,311	3,872
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,097	40	98	143	5	40
計	11,203	18,532	18,629	49,863	4,316	3,912
セグメント利益又は損失 (△)	△294	514	1,755	1,237	0	20

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	2,305	106,337	755	107,093	—	107,093
セグメント間の 内部売上高又は振替高	101	2,527	1,087	3,614	△3,614	—
計	2,406	108,865	1,843	110,708	△3,614	107,093
セグメント利益又は損失 (△)	956	4,190	△81	4,108	△34	4,073

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△34百万円には、セグメント間取引消去38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△73百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前提

		今回予想	対前年同期増減
銅価	第3四半期累計決算 \$/mt	4,928	△ 469
	年度予想 \$/mt	5,146	△ 69
為替	第3四半期累計決算 円/\$	106.7	△ 15.0
	年度予想 円/\$	107.5	△ 12.6

平成29年3月期 第3四半期決算短信 補足資料

2017年2月8日

古河機械金属株式会社

(売上高)

(単位:百万円 単位未満切捨)

	平成28年3月期 第3四半期累計期間	平成29年3月期 第3四半期累計期間	対前年同期増減
機械部門	53,335	46,128	△ 7,206
（産業機械）	(9,716)	(9,106)	(△ 609)
（ロックドリル）	(23,259)	(18,492)	(△ 4,767)
（ユニック）	(20,359)	(18,530)	(△ 1,828)
金属部門	57,489	49,719	△ 7,769
電子部門	4,094	4,311	216
化成品部門	4,538	3,872	△ 666
不動産部門	2,283	2,305	21
その他	585	755	170
〔合 計〕	122,327	107,093	△ 15,233

平成29年3月期	
年度予想	対前年増減
66,000	△ 6,232
(14,000)	(△ 926)
(26,500)	(△ 3,576)
(25,500)	(△ 1,729)
68,000	△ 6,192
5,700	222
5,300	△ 673
3,000	△ 45
1,000	123
149,000	△ 12,799

(営業利益)

	平成28年3月期 第3四半期累計期間	平成29年3月期 第3四半期累計期間	対前年同期増減
機械部門	4,078	1,976	△ 2,102
（産業機械）	(348)	(△ 294)	(△ 643)
（ロックドリル）	(1,631)	(514)	(△ 1,116)
（ユニック）	(2,097)	(1,755)	(△ 342)
金属部門	1,157	1,237	79
電子部門	△ 278	0	278
化成品部門	148	20	△ 128
不動産部門	970	956	△ 13
その他	△ 52	△ 81	△ 29
（計）	6,024	4,108	△ 1,916
調整額	△ 72	△ 34	37
〔合 計〕	5,952	4,073	△ 1,878

平成29年3月期	
年度予想	対前年増減
3,250	△ 2,632
(0)	(△ 1,037)
(800)	(△ 1,417)
(2,450)	(△ 177)
1,700	545
50	418
0	△ 197
1,200	△ 76
△ 120	△ 47
6,080	△ 1,989
△ 80	0
6,000	△ 1,988